

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

この調査は、市民が市政についてどのように考え、また何を望んでいるのかを統計的に把握するとともに、施策の評価や市政への関心・意識の程度を調査し、市政運営上の基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査の項目

調査項目は以下のとおりである。

調査事項	調査項目
回答者属性	性別、年齢、職業、家族構成、居住年数、居住地域、居住地区
宇都宮市に対する感じ方	宇都宮市の好き・嫌い、好きな理由、嫌いな理由
広報媒体の活用状況	市政情報の各広報媒体の視聴状況、「広報うつのみや」の入手方法、入手しない理由、「広報うつのみや」で読んでいる記事、「広報うつのみや」の別冊形式の冊子「政策特集（広報うつのみやプラス）」の利用状況、市ホームページで詳細な情報を入手するためのQRコードやページIDの利用状況、「広報うつのみや」に関する感想、取り上げてほしい話題・情報、市のホームページを見るための主な手段、ホームページで知りたい情報はどこから探すか、ホームページで知りたい情報は探しやすいか、ホームページに関する感想、充実してほしい機能や情報
日常生活における防犯に関する意識	宇都宮市で生活する中で、安心して暮らすことができているか
宇都宮市の景観	宇都宮市の景観は10年前と比べてどうなったと感じるか、「宇都宮らしい景観」とは何か、良好な都市景観の形成に必要なこと、景観資源である大谷石建築物に対する必要な取組は何か
ごみ減量化と資源化	資源物の排出方法、使い捨てプラスチックの削減のために実施していること、食品ロスの削減のために実施していること
健康づくり	健康の面から見て、自分の生活習慣をどう思うか、かかりつけ歯科医院の有無、主食・主菜・副菜をそろえて食べるのが1日2回以上あるのは週に何日か
うつのみや産の農畜産物	「うつのみや産」の農畜産物の購入意向、宇都宮の農業を大切にしたいか
道路の無電柱化の推進に対する市民意識	「無電柱化」の認知度・必要性、どういった道路の無電柱化を優先的に進めるのか、道路に電柱があることで、通行時に支障・危険を感じたことはあるか
国際スポーツイベントの認知状況	宇都宮市で開催している国際スポーツイベントの認知度、宇都宮市で開催している国際スポーツイベントの会場観戦の有無、どのような要素があればスポーツイベントに行くか
いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会	栃木県で国体が開催されることの認知度、とちぎ国体へボランティアとしての参加意向、ボランティア情報の入手方法、国体を盛り上げるために重要だと思うこと

市議会の広報・広聴に対する市民意識	市議会の情報をどのような方法で得るか，市議会についてどのようなことが知りたいか，宇都宮市議会に取り組んでほしいこと
「大谷石文化」の日本遺産認定	「大谷石文化」が日本遺産に認定されたことに関する認知度，「大谷石文化」を誇りに感じるか
電子決済を利用した納税に対する意識	市税納付について，クレジットカードやスマートフォンを利用したいと思うか，現在の主な納付方法，クレジットカードやスマートフォンを利用した納付をしたいと思う理由
もったいない運動	「もったいない運動」の認知度，実践している「もったいない運動」「もったいない残しま10！」運動の認知度
住宅用火災警報器	「住宅用火災警報器または自動火災報知設備」の設置状況，「住宅用火災警報器等」の点検実施状況，「住宅用火災警報器等」を設置していない理由
男女共同参画	家事・育児・介護それぞれに費やした時間，社会的な活動の実施状況，配偶者からの暴力を受けた経験，LGBT（エルジービーティー）の認知度
大谷地域の振興	大谷地域への来訪頻度，大谷地域へ誰と行ったか，本市運営による大谷地域専用の情報サイト「Oya, Stone City 大谷地域ポータルサイト」の認知度，どのような方法でサイトを知ったか

### 3. 調査の設計

- 調査地域 宇都宮市全域
- 調査対象者 満18歳以上80歳未満の日本国籍を有する市民4,800人
- 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- 調査方法 郵送法（回収にあたってはインターネットを併用）
- 調査期間 令和元年8月2日～8月23日

## 4. 回収結果

調査対象数	有効回答数	有効回答率
4,800	2,439	50.8%

<性別・年齢別の回収状況>

年代	性別	調査対象数	郵送		インターネット		合計	
			回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率
10歳代	男性	44	7	15.9%	48	109.1%	55	125.0%
	女性	41	7	17.1%	35	85.4%	42	102.4%
	計	85	14	16.5%	83	97.6%	97	114.1%
20歳代	男性	275	44	16.0%	21	7.6%	65	23.6%
	女性	203	57	28.1%	24	11.8%	81	39.9%
	計	478	101	21.1%	45	9.4%	146	30.5%
30歳代	男性	399	81	20.3%	43	10.8%	124	31.1%
	女性	331	133	40.2%	35	10.6%	168	50.8%
	計	730	214	29.3%	78	10.7%	292	40.0%
40歳代	男性	538	139	25.8%	57	10.6%	196	36.4%
	女性	504	217	43.1%	41	8.1%	258	51.2%
	計	1,042	356	34.2%	98	9.4%	454	43.6%
50歳代	男性	415	130	31.3%	49	11.8%	179	43.1%
	女性	337	178	52.8%	19	5.6%	197	58.5%
	計	752	308	41.0%	68	9.0%	376	50.0%
60歳代	男性	415	184	44.3%	30	7.2%	214	51.6%
	女性	428	269	62.9%	21	4.9%	290	67.8%
	不明	—	1	—	0	—	1	—
	計	843	454	53.9%	51	6.0%	504	59.8%
70歳以上	男性	351	203	57.8%	27	7.7%	230	65.5%
	女性	519	320	61.7%	8	1.5%	328	63.2%
	不明	519	1	0.2%	0	0.0%	1	0.2%
	計	870	524	60.2%	35	4.0%	558	64.1%
年代不明	男性	—	0	—	0	—	0	—
	女性	—	0	—	0	—	0	—
	計	—	10	—	0	—	10	—
	計	—	10	—	0	—	10	—
全体	男性	2,437	788	32.3%	275	11.3%	1,063	43.6%
	女性	2,363	1,181	50.0%	183	7.7%	1,364	57.7%
	不明	—	12	—	0	—	12	—
合計	4,800	1,981	41.3%	458	9.5%	2,439	50.8%	

※調査対象者が回答した「性・年齢」が住民基本台帳からの抽出情報と一致しない票もあった。  
原因としては、記入の誤りや代理回答など様々なケースが考えられる。

## 5. 標本誤差

アンケート調査を行う場合、全母集団を対象とすることが望ましいが、実際には適切な数の標本を抽出して調査を行うことになる。そのため、アンケートの回答結果が、どの程度の精度を持った回答結果であるのかを検討することが必要となる。その精度は以下の式で表わされる標本誤差を算出することで把握できる。

通常のアンケートでは、信頼度として95%がとられるケースが多い。信頼度95%とは、100回に5回がその標本誤差の範囲におさまらないという意味である。

次の表は、本調査における信頼度95%の場合の標本早見表である。

回答の比率 (P) 回答数 (n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
2,439	±1.19%	±1.58%	±1.81%	±1.94%	±1.98%
2,000	±1.31%	±1.75%	±2.00%	±2.14%	±2.19%
1,600	±1.47%	±1.96%	±2.24%	±2.40%	±2.45%
1,200	±1.69%	±2.26%	±2.59%	±2.77%	±2.82%
800	±2.08%	±2.77%	±3.17%	±3.39%	±3.46%
400	±2.94%	±3.92%	±4.49%	±4.80%	±4.90%

<標本誤差の算出方法>

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{(N-n)}{(N-1)} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

b : 標本誤差

N : 母集団数 (宇都宮市の18歳以上80歳未満人口)

n : 比率算出の基礎 (回答者数)

P : 回答の比率 (%)

1.96 : 信頼度95%の場合 (信頼度99%の場合は2.58を使用)

<表の見方>

この表の見方としては、例えば、回答者数が2,439で宇都宮市が「好き」との答えが46.8%であった場合、「その回答比率の範囲は最高でも46.8%±1.98%以内(44.82%~48.78%)である」とみることができる。

## 6. 調査報告書の見方

- 集計値は、小数点第2位を四捨五入とする。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 回答比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- 基数となるべき実数はnとして表示した。その比率は、件数を100.0%として算出した。